

わが市わが町

箱根町

『豊かな自然景観に向けて』

箱根町は、神奈川県西端に位置し、西に静岡県裾野市や御殿場市、北に小山町と神奈川県南足柄市、東には小田原市及び相模湾を望み、南は伊豆半島の付け根湯河原町や真鶴町と接していますが、高原と山岳地帯からなり地形的には隔てられています。

最近の研究から箱根火山の形成史は約65万年前から始まりいくつもの成層火山が集まって現在の複雑で多様な環境を持つ箱根山が形作られているのが分かってきました。

その箱根火山の中であって古くから、温泉保養地として知られ日本を代表する観光地でもあります。箱根町は、東西に13.53km、南北に12.82kmの広がりがあり面積は92.82 km²です。

箱根町は昭和11年（1936年）にほぼ全域が富士箱根伊豆国立公園に指定されており、その多くは広葉樹が占める自然林が優先しております。そのような中、町の森林（植林）面積としては6,959haで町面積の7%に当たり桧と杉が中心に植林管理されています。

箱根町有林は3,470.5haありますが、そのほとんどを桧が占めて

おります。

平成18年度から神奈川県の水源地環境保全再生市町村交付金を充当し、国立公園箱根に最もふさわしくまた、四季折々に変化する自然林への樹種転換に向けまず町有林から取り組んでおります。



「仙石原」植栽の様子

また、この樹種転換事業には神奈川県森林連合会が事業展開している地場産種苗のうち箱根の広葉樹の種で育った苗木を使い植樹を行っております。

現在町が行っている樹種転換の森林としては3か所があり、前述の地場産種苗を使用して間伐林跡地に毎年、ボランティアにより地域の人々や一般の方々が植樹を実施するとともに、学校教育や環境教育の一環として高校生や会社の新入社員研修などで、植樹を行い森林が持つ環境への高度な浄化機能を紹介し町の森林再生への理解

を求めているところです。

箱根は年間約200万人もの観光客が訪れ変化に富んだ地形や風景、四季折々に変化する山の景色に今も、人々を惹きつけて止みません。

町では、この変化に富む森林こそ箱根に欠かすことのできない風景であると確信し、今後は、広葉樹林化事業を活用した自然観察など森林がもたらす様々な効用を多彩なハイキングコースの中で紹介するなど森林利活用についても検討をしていきたいと考えております。



「お玉ヶ池」植栽の様子

箱根が世界の箱根であるためにも、今後も広葉樹林化を推し進めて行きたいと考えております。

（箱根町観光課 担当課長 高橋 勉）